木協通信

第95号
発行年月日
令和8年1月1日
日田市大字東有田
ウッドコンビナート
日田木材協同組合
TEL24-2167

Instagram
はじめました
＼Follow Me!!／

☆新年のご挨拶

謹賀新年

昨年は、建築基準法の改正やトランプ関税に翻弄された一年でした。期待した円安の効果は、国産材のシェアアップには千載一遇のチャンスの年でしたが、価格を押し上げるまでにならない一年でした。

一方、関西大阪万博では、大屋根リングをはじめ多くの木造パビリオンが日本の木材や木造技術を世界にPRできました。また、クマ騒動が九州ではなかったのは、不幸中の幸いでした。

組合員の皆さんにご協力いただいた、日田林工高校への支援策は、昨年定員割れが解消され、一定の効果が確認できました。気の長い事業ですが、必ず業界の将来のためになると信じて、本年の状況を期待しましょう。

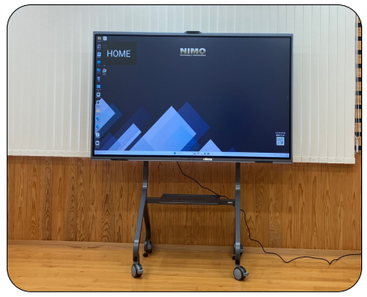
本年は、木材業界にとってどのような年になるのでしょうか。円安傾向は、まだまだ当分続きそうですし、輸入材の代替需要は期待できるでしょう。ただ、需要者の寡占化が進み、従来の流通経路が大きく変化することが予想されます。その流れに取り残されない様にせねばなりません。非住宅物件の木造化も、更に進むでしょうし、製品での輸出についても、細くとも継続しておけば、米国の住宅市況によってはチャンスがあると思います。

厳しい状態は、まだまだ続きそうですが、本年も役職員一同、業界の発展に寄与できるよう努力いたしますので、引き続きのご協力よろしくお願いいたします。

理事長　瀬戸亨一郎

☆電子黒板導入のお知らせ

これまでの会議等では、プロジェクターやスクリーン、カメラ、マイク、スピーカーなどの機器設置に多くの時間を要していました。しかし、電子黒板であればボタン一つで起動でき、準備にかかる時間を大幅に短縮することが可能です。本電子黒板を組合員の皆様、また組合員が関係する各種団体にご利用いただくことで、労働時間の短縮にも寄与するものと考えております。ぜひ多くの皆様に積極的にご活用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



☆インドネシア人の歓迎会について

去る10月31日、特定技能第1号として組合員企業に就職したインドネシア人5名の歓迎会を、日田木協にて開催いたしました。当日は、駐日インドネシア大使館の職員の方にもお越しいただき、心温まる激励のお言葉を頂戴しました。本人たちは「日田は寒いが、一生懸命働き、早く一人前になりたい」と、それぞれ力強い抱負を語っておりました。皆様におかれましても、彼らが一日も早く日田の生活や職場に慣れるよう、温かく見守っていただければ幸いです。また、今後の労働者確保等につきましてご相談がございましたら、どうぞお気軽に当組合までお声掛けください。

☆北米製材工場視察報告

昨年1月に引き続き、今年度は2度目となる北米出張を行いました。今回は現地木材商社のアテンドにより、アメリカで2か所、カナダ・バンクーバー周辺で3か所の製材・加工工場を視察しました。前回の訪問を踏まえ、より現地の実情に踏み込んだ視察となりました。

各工場で共通して感じたのは、自動化・機械化の進展です。スキャナーを活用した原木選別や製材工程により、安全で正確、かつスピード感のある生産体制が確立されていました。人手に依存しないことで品質のばらつきを抑え、省人化と安定供給を両立している点は、日本との大きな違いだと感じました。

一方で、現地の木材価格や物価水準については、日本との隔たりを強く実感しました。人件費やエネルギーコスト、設備投資額はいずれも高く、住宅価格や外食費など生活コスト全体が日本より高い水準にあります。その中で木材価格も一定水準を維持しており、価格を下げることは容易ではない状況にあります。

特に印象的だったのは、視察した工場の一部で「翌週からウエスタンレッドシダーの原木が入荷せず、工場を止めざるを得ない」との説明を受けたことです。機械化が進み大規模な設備を持つ工場であっても、原木が確保できなければ操業できないという現実は、原料供給の不安定さと市況の厳しさを象徴していました。

今回の視察を通じて、北米では高コスト環境の中でも品質管理と効率化への投資を続けながら価格を維持していることを実感しました。国産材が今後も選ばれていくためには、価格競争だけでなく、安定供給と品質の信頼性をどのように示していくかが重要であり、日田材の今後を考える上で多くの示唆を得た出張となりました。

★お知らせ

○ 令和7年度木づかい促進事業について

現在、新築・リフォームともに申請枠に余裕があります。新築につきましては令和8年3月20日までに棟上げが完了していること、リフォームにつきましては工事が完了していることが原則となります。どうぞご活用くださいますようお願いいたします。

【申請先・お問合せ】
顔の見える日田材の家づくり等推進協議会事務局（日田木材協同組合内）